

政策番号	19	政策分野	生涯学習
------	----	------	------

基本方針	「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、京都ならではの「地域力」，「文化力」，「人間力」を結集し，まち全体を学びの場とすることで，子ども・若者から高齢者まであらゆる世代の市民だれもが学ぶ喜びを実感し，みずからを磨き高めて，社会を創造していけるまちづくりを進める。 また，次代を担う子どもたちを市民ぐるみで健やかに育むために，「子どもを共に育む京都市民憲章」の実践に向けた取組を市民ぐるみで推進する。
------	---

担当局	教育委員会	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン
---------------------	-----------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		23年度 評価値	32年度 目標値	26 年度	27 年度	28年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）	2,290	3,000	a	a	2,989	3,166	2,500	126.6%	a
2	京都市図書館入館者数（万人）	431.5	431.5	b	b	415.6	426.1	422.6	100.8%	a
				a	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	26年度	27年度	28年度
1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充（2指標）	a	a	a
1902	学びが社会に還元されるしくみづくり（1指標）	a	a	a
1903	子どもを共に育む気運づくり（2指標）	a	c	a
（3施策平均）		a	a	a

政策の客観指標総合評価	26年度	27年度	28年度
（政策の客観指標評価：施策の客観指標評価＝1：0.5）	a	a	a

2－1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		26年度	27年度	28年度
1	京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。	a	a	a
2	生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	c	c	c
3	地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	c	c	c
4	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	c	c	c
政策の市民生活実感調査総合評価		b	b	b

2－2 政策の重要度（27政策における市民の重要度）

26年度		27年度		28年度	
順位	%	順位	%	順位	%
18	81.8%	14	82.1%	18	79.1%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		27年度	B
【市民生活実感調査総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。			
【総括】 ・客観指標が一定進捗し、市民の実感を上回る結果となったが、各種の取組を市民の実感につなげることについては、今後も改善の余地があるように思われる。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。		26年度	B

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価＋市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		26	27	28
1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充	A	A	A
1902	学びが社会に還元されるしくみづくり	B	B	B
1903	子どもを共に育む気運づくり	B	C	B

<今後の方向性>

①市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充

- ・生涯学習の情報検索サイトのコンテンツの充実やSNSサービスの活用を図る。
- ・博物館や大学等と連携した多様な学習機会の提供、充実を図る。
- ・図書館の環境整備やサービスの充実などについて検討を重ね、より一層の利便性の向上を図る。
- ・学校と子ども・保護者・地域住民が協力し合い、開かれた学校づくりを進める取組を通して、地域に根差した生涯学習活動の活性化を図る。

②学びが社会に還元されるしくみづくり

- ・ボランティア活動の機会拡充を図り、京都市内博物館施設連絡協議会加盟施設に対してボランティアの活用依頼に努める。
- ・豊かな学びの場、機会、人材のネットワークづくりを進め、生涯学習活動の活性化を図る。
- ・学びの成果をまちづくり等に活かすことができる生涯学習のまちづくりを推進する。

③子どもを共に育む気運づくり

- ・市民実感評価において、「どちらとも言えない」が約半数を占めているため、子どもを社会全体で育むことを目的とした「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」(23年4月施行)に基づく取組を一層推進し、市民憲章の周知を更に徹底するとともに、行動指針の策定・実践など、各分野で実践行動を一層広げ、市民・地域ぐるみで子育てを支え合い、子どもたちを健やかで心豊かに育むまちづくりを進める。
- ・子どもを共に育む京都市民憲章実践推進者表彰応募件数の増加に向け、各行政区等で憲章の実践につながる取組を行っている個人又は団体に周知を図り、本表彰への応募を積極的に働きかける。

政策名	19	生涯学習						
指標名	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）							
担当部室	生涯学習部	連絡先	2 5 1－0 4 1 0					
1 指標の説明								
京都市のホームページ上で公開されている、「京まナビネット」「みやこ子ども土曜塾」等において登録されている講座・イベント等の情報数（企画数）								
2 指標の意味		3 算出方法・出典等						
京都のまち全体が学びの場となることをめざして、その進捗状況を示す指標		出典：事業担当課調べ						
4 数値								
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠					
	2,290	3,000	21年度実績1,986の約1.5倍					
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値				
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度		
数値	2,989	3,166	177件増	2,500	平成32年度までに21年度の企画数を1.5倍にするために、当該年度に達成すべき数値。	126.6%		
	全国順位	中長期目標			備考			
	数値	目標年次	達成度	根拠				
数値								
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満				100%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		26	27	28
						a	a	a

指標名		京都市図書館入館者数（万人）					
担当部室		生涯学習部		連絡先		8 0 1 - 8 8 2 2	
1 指標の説明							
京都市立図書館の利用者数							
2 指標の意味				3 算出方法・出典等			
京都のまち全体が学びの場となることをめざして、市民に最も身近な学びの拠点である図書館の活用状況を示す指標				算出方法：京都市立図書館20館での利用者数の合計 出典：事業担当課調べ			
4 数値							
10年後（平成32年度）の目標値		平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠			
		431.5	431.5	京プラン実施計画第2ステージの目標値			
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			達成度
	26年度	27年度		数値	根拠		
数値	415.6	426.1	10.5万人増	422.6	平成32年度目標値を達成するために当年度達成すべき数値		100.8%
	全国順位	中長期目標				備考	平成26年度11月1日から平成26年12月25日まで、改修工事に伴い北図書館が休館
	数値	目標年次	達成度	根拠			
数値							
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満				100%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		262728	
						bba	